

江戸川区議会 令和6年 第3回定例会報告

【9/19(木)～10/25(金)の37日間】

本定例会では、代表質問に伊藤照子区議、一般質問に佐々木勇一区議が登壇しました。(一部紹介)

Q 国連未来サミットを受けたSDGs等の更なる推進について

- ①本区のSDGsを加速させる取り組みは
- ②未来のための協定やウェルビーイングの概念を今後の区政に反映させるべきと考えるが

- A** ①区民や事業者の他、専門性の高い団体の力を借りて推進を加速させていきたい。
- ②今後も新しい情報や考えを意識して、共生社会の実現に向けて区政を展開していきたい。



Q 認知症の方と介護者に対する支援の現状とユマニチュード推進を含めた今後の方向性は

- A** ユマニチュードを推進するため、今後は認知症理解に向けた情報提供を検討していく。(ユマニチュードとは認知症のケア技法)



Q 公立小中学校での補助教材費の経済的負担軽減について

- A** 共用できるものは学校に配備出来るよう、一部教材等の公費購入の早期実施を検討する。



Q 南海トラフ地震臨時情報への対応と、住宅とライフラインの更なる耐震化について

- A** 災害への備えの重要性を呼びかける。個別の啓発活動とともに関係機関に働きかけ、耐震化を推進する。



Q 災害関連死を防ぐ避難所の在り方について

- A** トイレ等避難所環境の整備と自助の啓発を進めたい。

Q 本区の公立小中学校の学力向上、英語力向上について

- A** 本区独自の学力調査等を実施する。英語のコミュニケーション能力と基礎・基本の定着を目指したい。



Q 不登校対策として、校内別室指導支援員配置事業の継続と将来的には全校で実施を

- A** 支援員については実施校の成果と課題を踏まえ、検討していく。



Q STEAM教育の推進について

- ①STEAM教育の現状と今後の展望は
- ②東京藝術大学等との更なる連携強化を

- A** ①科学教育センターや読書科がSTEAM教育に相当する。今後も区の教育資源を活用し教科横断的な学びを取り入れていきたい。
- ②今後も区が抱える様々な社会課題の解決に向け、東京藝術大学と連携を図っていく。



令和5年度 決算特別委員会報告

第3回定例会中の令和5年度決算特別委員会では、川瀬泰徳・竹内進(副委員長)・関根麻美子・所隆宏・佐野朋子の各議員が審査に臨みました。(一部紹介)

- 「住まいの防犯対策補助金制度」の創設と防犯カメラを搭載した「みまもり自販機」の設置推進を要望。
- 人権・男女共同参画の啓発を子ども達や若い世代にも積極的に進めること、また、問い合わせ機能も有する一元的なハラスメント総合相談窓口の設置を要望。
- 気仙沼市と引き続き友好関係を深め、両市における友好都市盟約締結に向けた機運醸成を要望。
- 事業承継の課題について、早期着手に向けての対策や相談体制の強化及び、M&Aに対し、融資等の支援を要望するとともに、区内企業の人材確保のため、奨学金返済支援助成制度の創設を要望。

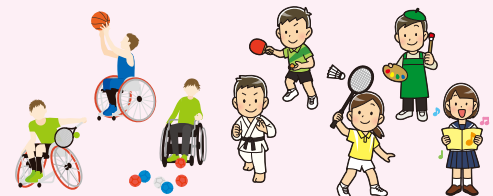
- 特別養護老人ホームの入所申込やケアマネジャーの業務において、情報共有のためのICT化の早期実現を要望。
- がん以外の病気や事故等で身体の一部を失った方のエピテーゼなども補助対象となるように要望。
- 私道舗装、私道排水施設改築助成事業については、L型側溝についても助成の対象となるよう要望。
- ICTを活用した学習活動の環境整備を要望するとともに、子どもの心身ともの健康を守るため、更新予定のタブレットの機能制限の導入を要望。
- スクールソーシャルワーカーの更なる人材育成と都の事業後も校内別室指導支援員配置の継続を要望。

『文化・スポーツプラザ』が整備へ！【旧第二松江小学校跡地に予定】

区は、区民の生きがいづくりのために、身近な場所で、いつでも誰もが、文化・スポーツを行える場所を整えます。

《三つの特徴》

- ①文化・スポーツ活動の拠点(文化会等4団体の連携や地域クラブ活動の実施)
- ②アートや芸術活動の拠点(ギャラリー・交流スペース・東京藝大のワークショップ)
- ③パラスポーツの拠点(ボッチャ等の様々な競技がいつでもできる環境)



ご意見・ご要望はこちらへ！

TEL:03-5662-5112 / FAX:03-3674-5860



関根 麻美子 川瀬 泰徳 竹内 進 堀江 創一 中道 貴 伊藤 照子 所 隆宏 佐々木 勇一 窪田 龍一 太田 公弘 川合 佐奈子 佐野 朋子